

◇令和7年度「北上地域企業情報ガイダンス」レポート



就職を希望する高校生

237 名が参加。

「北上地域企業情報ガイダンス」開催！

来年（2027年）春に高校を卒業し就職を予定している高校2年生と、就職を希望している1年生を対象とした「北上地域企業情報ガイダンス」が3月4日（水）に開催されました。参加したのは、北上地域はもちろん花巻市・奥州市にある高校の生徒237名と北上地域の39企業の採用担当者のみなさんです。



▲毎年、公立高校の入試日に開催している「北上地域企業情報ガイダンス」。会場となった「さくらホール

feat.ツガワ」には 237 名の高校生が来場。

近年、高校生を対象とした北上地域の企業の求人数は、2023 年度が「808 人」、2024 年度が「796 人」、2025 年度が「736 人」なのに対して、北上地域で就職を希望する生徒数は 2023 年度が「240 人（うち県外 55 人）」、2024 年度が「212 人（うち県外 40 人）」、2025 年度が「215 人（うち県外 59 人）」となっており、人口減少と少子化による生徒数の減少や進学率の増加も相まって、高校生の採用活動は厳しさを増しています。

※参照：岩手労働局「令和 8 年 3 月新規高等学校卒業予定者の職業紹介状況 一令和 8 年 1 月末現在一」より

<https://jsite.mhlw.go.jp/iwate-roudoukyoku/content/contents/002578196.pdf>

加えて、高校生の採用活動は大学生とは異なり、企業側は高校生と直接コンタクトを取ることが難しく、企業側が生徒と接点を持てるのは「職場見学」と「面接」のときが主になります。そのため、就職を希望する高校生に直接企業説明が行える「北上地域企業情報ガイダンス」は企業にとっても、高校生にとっても貴重な機会となっており、毎年多くの高校生と企業の方にご参加いただいています。

1 人最大 8 社。希望の企業だけでなく、知らない企業もチェック！

3 月 4 日（水）、12 時 30 分からスタートした「北上地域企業情報ガイダンス」は 5 部制に分かれており、1 社 20 分、1 人につき最大 8 社の企業ブースをめぐり、企業の担当者から直接お話を聞くことができます。しかも、参加する生徒は事前に北上地域の 39 の企業から希望の企業が選べるようになっており、生徒に事前に配布したチラシには参加企業の HP にアクセスできる QR コードも記載し、事前に下調べをして参加できる配慮もされています。



▲当日、ガイダンス開始前の会場の様子。

そのため当日の様子を見ていると、参加した高校生のみなさんは希望する企業をめざして積極的にブースをめぐっている姿が印象的でした。実際にガイダンスに参加した生徒のアンケートを見てみると、「パンフレットや HP を見ただけではわからなかった情報や、実際に動画を見たり社員の声を聞いたりできて良かった」とい

うような声が聞かれ、企業のお話を直接聞ける機会を有効活用するため、事前に希望する会社のHPをチェックしてから参加している様子がうかがえました。



その他にも、「どのような仕事をしているのか、年間休日がどれくらいあるのかを知れて参考になった。また、社内の雰囲気も見せてくれる企業があってとても役に立った」「会社の仕事内容や福利厚生など実際に働いている人の話を聞いて良かった」というような声も多く、「社内の雰囲気」や「働いている人の声」を伝える工夫をしている企業に対して、多くの生徒が好感を持っているようでした。

1日で最大8社の企業をめぐる点も高校生にはうれしかったよう。「知らない企業についても話を聞くことができ良かった」「今まで知らなかった企業のことも知ることができた。また、知っている企業でも新たに知ることができて良かった」といった声が多く聞かれ、今回のガイダンスを通して、自分の興味のある仕事だけでなく、新たな企業の魅力に触れられた生徒も多かったようでした。



高校や大学を卒業し、就職した方の3年以内離職率が4割に迫るなど、若者の早期離職が全国的に課題となっています。加えて、近年は人口減少や少子化に人手不足などが重なり、企業側では「求人を出しても応募者がいない」という声が多く聞かれます。そうした時代だからこそ、自社の認知度を高めることはもちろん、安心して長く働いてもらうために、自社のことをよく理解してから選んでもらい、ミスマッチを防ぐ工夫も求められています。人手不足のなか、せっかく入社しても「思っていたのと違って」とすぐ辞められてしまっ

は、働く人にとっても、企業にとってもマイナスです。そうしたなかで、さまざまな企業のブースをめぐり、福利厚生なども含めて企業の取り組みを比較してみたり、担当者のお話を直接聞くことで会社の雰囲気を感じたり、自分の知らなかった企業と出会う機会は、生徒のみなさんにとっても貴重な体験だったようでした。

※参照：岩手労働局「過去3ヵ年度の在職期間別離職状況」より

<https://jsite.mhlw.go.jp/iwate-roudoukyoku/content/contents/001307846.pdf>

企業も学びの場に。他社のブースを見学し、自社の今後に活用。

一方、今回の「北上地域企業情報ガイダンス」を企業の声から振り返ってみると、「高校生とつながりが持てる機会は少ないので有意義な時間だった」「学生と直接会う機会が少ないので貴重な場だった」という声が多くありました。先にも触れましたが、高校生の採用活動においては高校生と企業の担当者が直接交流できる機会は多くありません。そのため、企業側も高校生と接点を持てるこの機会を有効活用するとともに、「他社様のブースも見学が可能で今後の改善の参考になる」といった前向きな声も多く聞かれるなど、高校生に自社の魅力を効果的に伝えるため、他社のプレゼンテーションから学びを得る場にもなっているようでした。



12時30分からスタートした今年度の「北上地域企業情報ガイダンス」は、一部で予定の時間がオーバーしてしまい後ろにずれ込むこともありました。予定通り16時過ぎに無事終了となりました。高校生の就職活動は、6月1日から企業の求人申込書がハローワークに提出され、高校生への情報公開は7月1日。その後、生徒の企業見学などが行われ、9月に学校から企業へ生徒の応募書類が提出され、企業による選考試験・面接へと進んでいきます。

一見すると本格的な高校生の就職活動はまだ少し先のようにも思えますが、高校生のみなさんは新年度がはじまると授業や学校行事に部活動と忙しく、企業選びなど「就職」にじっくり向き合える時間は限られてくるそう。そのため、企業が高校生と接点を持つ機会が少ないなか、高校生と採用担当者が直接交流できる今回のガイダンスは高校生にとっても、企業にとっても貴重な時間となったようでした。



▲前日夜に降った雪に覆われた北上市内の公園。

また、今回残念だったのが前日の雪。当初は「北上地域企業情報ガイダンス」に257名の高校生が参加予定でした。しかし、北上地域だけでなく花巻市や奥州市の高校生も参加を予定しているなか、前日の夜に降った雪の影響で交通機関が一部混乱した影響もあって、当日は予定より20名ほど人数が減り、参加した生徒は237名に。企業と高校生が直接交流できる貴重な機会ということもあり、参加できなかった生徒の方を思うと、前日の雪がうらめしく思われました。

来年の「北上地域企業情報ガイダンス」は3月4日に実施予定です。来年は、晴れますように！

(了)